

(様式5)

# 令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県関市立関商工高等学校 学校番号 63

## I 自己評価

1	学校教育目標	「至誠明朗」の校訓を体し、知・徳・体の調和のとれた創造的・人間性豊かな実践力のある地域社会人の育成を図る。		
2	評価する領域・分野	学校経営		
3	現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	保護者対象のアンケートでは「学校の教育方針や指導内容」「創造的・人間性豊かな生徒の育成」「健全な心身の育成」の項目において、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせると94～98%の高い評価をいただいている。また、99%の生徒が「教育方針をわかりやすく説明されている」と回答し、97%が本校に入学できてよかったと感じている。		
4	今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症防止に対応した教育活動の実施</li> <li>・組織と連携を大切にした教師集団</li> <li>・教科指導と部活動指導の両立</li> <li>・生徒の主体的学習態度の育成</li> <li>・危機管理を意識した安全教育</li> <li>・商業教育・工業教育の推進</li> <li>・新教育課程を見据えた対応</li> </ul>		
5	重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画委員会</li> <li>・職員会議</li> <li>・各種委員会</li> <li>・各分掌会</li> <li>・商工専門部会</li> <li>・各学年会</li> </ul>		
6	目標達成のための具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 組織での対応・危機管理の徹底</li> <li>(2) 研修等内外の活力を利用した授業改善</li> <li>(3) 専門科に関する資格取得に向けての取組</li> <li>(4) 進路行事の充実、外部模試の実施(進学希望者)、進路実現に向けての補習の充実</li> <li>(5) 部活動、生徒指導等による人間形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒及び保護者等を対象とするアンケート</li> <li>(2) 生徒の授業評価、生徒を対象とするアンケート</li> <li>(3) 資格取得数の状況</li> <li>(4) 就職・進学状況及び生徒や保護者等を対象とするアンケート</li> <li>(5) 生徒及び保護者等を対象とするアンケート</li> </ul>		
8	取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 教職員がコロナ情報を共有し、組織として感染防止対策に当たる。</li> <li>(2) オンライン学習支援やClassroom活用、Webでの研修会等、生徒、教員ともにコロナ禍でも可能な形で学習、研修を実施する。</li> <li>(3) 挨拶・マナーの励行に加え、コロナハラスメント防止等の人格教育を強化する。</li> <li>(4) 教職員の働き方改革を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 組織での対応、安全教育を適切に遂行することができたか。</li> <li>(2) 生徒への学習支援や職員研修が適切に実施されたか。</li> <li>(3) 基本的な生活習慣が身に付いているか。トラブルはないか。</li> <li>(4) 適正な勤務時間であるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A (B) C D</li> <li>(A) B C D</li> <li>(A) B C D</li> <li>A (B) C D</li> </ul>	
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員間で足並みを揃えて、生徒の検温指導等感染防止対策に当たることができた。</li> <li>○休校期間中のみならず、Classroom活用による学習支援や情報発信・共有ができた。</li> <li>○コロナ禍に応じた部活動や学校祭等の学校行事を実施することができた。</li> <li>○コロナ禍ではあるが、基本的な生活習慣を身に付ける指導の徹底、資格・検定の取得促進、部活動の活性化を図り、魅力ある学校づくりにつとめることができた。</li> <li>●商業科と工業科の連携を深め、一体となった学校の特色作りが必要である。</li> <li>●部活動のあり方と働き方改革について、検討が必要である。</li> </ul>	総合評価 A (B) C D		
12	来年度に向けての改善方策案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の連携を密にし、教職員が一体となって組織的に教育目標の実現に努める。</li> <li>・商と工が連携した学校の特色作りをさらに進め、「Seki Shoko Company」の活動等、地域のニーズに応じた活動を展開する。</li> <li>・業務の精選と効率化、部活動のあり方を検討し、教職員の働き方改革を推進して、教育活動の活性化を図る。</li> </ul>			

## II 学校関係者評価

実施年月 令和3年1月25日

<b>【意見・要望・評価等】</b> コロナ禍において、感染防止に十分対応した学習指導や行事が実施されている。先生方のご努力により教育方針等が生徒や保護者に理解され、地域にとって必要な学校として認知されていると感じる。ただ、先生方が業務過多となり教師本来のあるべき姿や生徒との心豊かな交流が疎かになってはならない。今後さらに、学校の様子が見えるような開かれた学校を目指していただきたい。
--